



ファームウェアの管理

この章は、次の内容で構成されています。

- [ファームウェア管理の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ファームウェア コンポーネントの表示 \(2 ページ\)](#)
- [ファームウェアの更新 \(3 ページ\)](#)
- [ファームウェアのアクティブ化 \(4 ページ\)](#)
- [ファームウェアのアクティベーションのキャンセル \(5 ページ\)](#)

ファームウェア管理の概要

次のファームウェア コンポーネントは Web UI の 1 つのページで管理できます。

- **アダプタファームウェア**：メインのオペレーティングファームウェア（アクティブイメージとバックアップイメージで構成）は、次のようなさまざまなインターフェイスからインストールできます。
 - Host Upgrade Utility (HUU)
 - Web UI：ローカル プロトコルおよびリモート プロトコル
 - PMCLI：リモート プロトコル
 - XML API：リモート プロトコル

ファームウェアイメージをローカルファイルシステムまたはTFTPサーバからアップロードできます。

- **ブートローダファームウェア**：ブートローダファームウェアは、Cisco IMC からインストールできません。このファームウェアは、Host Upgrade Utility を使用してインストールできます。

次の各コンポーネントのファームウェアを更新できます。

- BMC
- BIOS

- CMC
- SAS エクスパンダ
- アダプタ

ハードディスク ドライブ (HDD) のファームウェアは、上述のアダプタ ファームウェアと同じインターフェイスからインストールすることもできます。

ファームウェア コンポーネントの表示

手順

ステップ 1 [管理 (Admin)]メニューで [ファームウェア管理 (Firmware Management)]をクリックします。

ステップ 2 [General] タブの [Firmware Management] 領域で、次の情報を確認します。

名前	説明
[Update] ボタン	ローカルマシンまたはリモートサーバで利用可能なファームウェアイメージファイルをインストールするダイアログボックスを開きます。
[Activate] ボタン	サーバでアクティベートする利用可能なファームウェアバージョンを選択するダイアログボックスを開きます。 重要 ファームウェアまたは BIOS の更新が進行中の場合は、それらのタスクが完了するまで新しいファームウェアをアクティブ化しないでください。
[アクティベーションのキャンセル] ボタン	(注) このボタンは、[アクティベーションの保留] 状態の BIOS ファームウェアを選択した場合にのみ表示されます。 このボタンを使用して、選択した保留状態の BIOS のアクティベーションをキャンセルできます。
[component] 列	ファームウェアを更新できる、使用可能なコンポーネントのリストです。

名前	説明
[Running Version] カラム	現在アクティブなコンポーネントのファームウェアバージョン。
[Backup Version] カラム	サーバにインストールされた代替ファームウェアバージョン（あれば）。バックアップバージョンは現在動作していません。アクティベートするには、[Activate] をクリックします。 (注) 新しいファームウェアをインストールする際、既存のバックアップバージョンがあるなら、すべて削除され、新しいファームウェアがバックアップバージョンになります。新規のバージョンをサーバで実行する場合、手動で新規のファームウェアをアクティベートする必要があります。
[Bootloader Version] カラム	コンポーネントのブートローダソフトウェアに関連付けられたブートローダのバージョン。
[Status] カラム	このサーバのファームウェアアクティベーションのステータス。
[Progress in %] カラム	操作の進捗状況のパーセント表示。

ファームウェアの更新

[ファームウェア管理 (Firmware Management)] 領域で選択するコンポーネントに応じて、ローカルディスクまたはリモートサーバからファームウェアパッケージをインストールできます。インストールを確認した後、BMCによってコンポーネントのバックアップメモリスロット内のファームウェアバージョンが選択したバージョンに置き換えられます。

手順

- ステップ 1 [管理 (Admin)] メニューで [ファームウェア管理 (Firmware Management)] をクリックします。
- ステップ 2 [Firmware Management] 領域で、[Component] カラムからコンポーネントを選択し、[Update] をクリックします。
[Update Firmware] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ3 このダイアログボックスで次の情報を確認します。

名前	説明
[Install Firmware through Browser Client] オプション ボタン	ファームウェアパッケージがローカルマシンに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。
[リモートサーバーによるファームウェアのインストール (Install Firmware through Remote Server)] オプション ボタン	ファームウェアパッケージがリモートサーバーに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。

ステップ4 ブラウザのクライアントを介してファームウェアをインストールするには、[Browse]をクリックしてインストールするファームウェア ファイルに移動します。

ステップ5 ファイルを選択してから、[Install Firmware] をクリックします。

ステップ6 リモートサーバーを使用してファームウェアを更新するには、[Install Firmware from] ドロップダウンリストからリモートサーバーのタイプを選択します。次のいずれかを選択できます。

- TFTP
- FTP
- SFTP
- SCP
- [HTTP]

ステップ7 選択したリモートサーバーのタイプに応じて、サーバーの[IP/Hostname]および[Image Path and Filename] フィールドに詳細を入力します。

ファームウェアをインストールすると、新しいイメージが非アクティブなイメージと置き換わります。インストール後にイメージをアクティブにすることができます。

重要 FTP、SFTP、SCP サーバー タイプの場合は、ユーザー クレデンシャルを提供する必要があります。

ステップ8 [Install Firmware] をクリックして、ダウンロードとインストールを開始します。

ファームウェアのアクティブ化

手順

ステップ1 [管理 (Admin)]メニューで[ファームウェア管理 (Firmware Management)]をクリックします。

ステップ2 [Firmware Management] 領域で、[Component] カラムからコンポーネントを選択し、[Activate] をクリックします。

[Activate Firmware] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ3 [Activate Firmware] ダイアログボックスで、アクティブにするファームウェア イメージ（オプション ボタン）を選択します。このイメージは実行中のバージョンになります。

ステップ4 [Activate Firmware] をクリックします。

選択したファームウェア イメージに応じて、アクティブ化のプロセスが開始されます。

重要 アクティブ化の進行中は、次のことを行わないでください。

- サーバのリセット、電源切断、シャットダウン
- BMC のリブートまたはリセット
- 他のファームウェアのアクティベート
- テクニカル サポートまたは設定データのエクスポート

ファームウェアのアクティベーションのキャンセル

始める前に

アクティベーションをキャンセルするためには、BIOSファームウェアは[アクティベーションの保留（Activation Pending）]状態である必要があります。

手順

ステップ1 [管理（Admin）] メニューで [ファームウェア管理（Firmware Management）] をクリックします。

ステップ2 [Firmware Management] 領域で、アクティベーションをキャンセルする BIOS ファームウェアを選択します。

ステップ3 [アクティベーションのキャンセル（Cancel Activation）] をクリックします。

[アクティベーションの保留（Activation Pending）]状態の BIOSファームウェアを選択した場合にのみ [アクティベーションのキャンセル（Cancel Activation）] ボタンが表示されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。